

## 大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）事後評価結果表

大学名	千葉大学
整理番号	B-II-2
事業名	大陸間デザイン教育プログラム（CODE Program）

### ◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

（総括評価）  <b>S</b>	取組状況、目標の達成状況ともに事業計画を上回る成果をあげており、事業目的は十分に実現された。
（コメント）	
<p>本事業は、日本、欧州、米国大学のデザイン教育の差に着目して、3地域の異なるデザインを総合的に学習する学部3.5年、修士課程2.5年の独自の協働教育プログラム（B7M5）であり、1年間の交換留学として海外教育プログラムのみならず、最長半年間の海外インターンシップを経験させ、産業界との連携による実践的な教育を提供するものである。</p> <p>交流プログラムの枠組みについては、企業と緊密に連携することにより、産学相互の人材育成が可能となる枠組みの構築がなされ、実践的ワークショップの推進及び充実したインターンシップが実施された。これらの活動は、世界のデザイン知識を習得し、多様な視点を有するグローバル人材としての成長とキャリア形成に大きく貢献したと評価できる。</p> <p>事業の実施に伴う大学の国際化と成果の普及については、本事業で導入したターム制の全学展開及び独自の人材配置（アマヌエンス及びスーラ）を実施したことにより、大学の国際化が進展した。また、本事業に他大学及び高等専門学校出身者が参加することができるシステムを構築したことについては高く評価できる。</p> <p>目標の達成状況については、順調に事業を進展させ、相手大学が拡大し、派遣・受入ともに交流学生数も目標を大きく超え、当初の目標を上回る成果が認められる。</p> <p>今後の展開については、資金の調達等を着実に進めることにより、本事業の継続性・発展性が期待できる。</p>	